



Smith+Nephew

ULTRABUTTON

Adjustable Fixation Device

Supporting healthcare
professionals for over 150 years

ウルトラボタン ADJUSTABLE

ウルトラボタンは、優れた引っ張り強度とループの緩み軽減を実現しました。[※]
また、アジャスタブルループ部分は調整時に靱帯を保護するユニークなデザインです。

Graft Cradle

- 移植腱を保護するユニークなデザインです。
- ウルトラボタンと移植腱の間で発生する動きとソーイング効果を減少します。



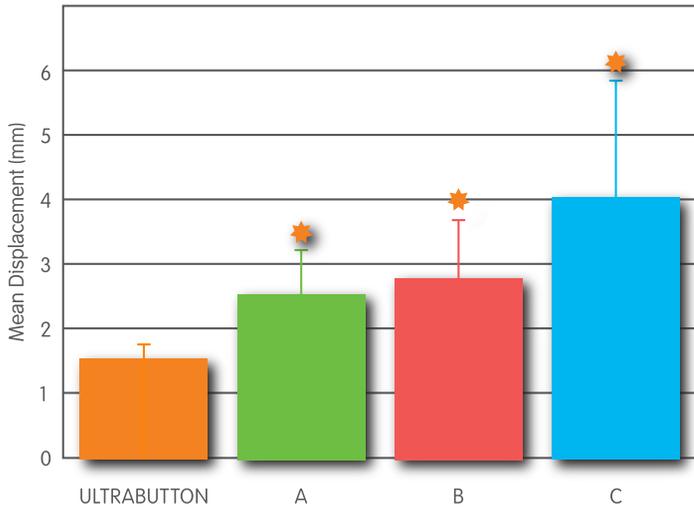
Adjustment Tails

- アジャスタブルループの微調整が可能です。片縛りのリスクを軽減します。

※

ループの緩みを最大60%減少

ウルトラボタンは、4500回転のバイオメカニカルテストにおいて、ループの緩みが減少しています。



優れた引っ張り強度

ウルトラボタンは、引っ張り試験においてより強い強度を有しています。



1. Data on file at Smith & Nephew, PN: 69889-01, 2016. The results of in vitro simulation testing have not been proven to predict clinical performance.

Denotes comparison relative to the ULTRABUTTON Adjustable Fixation Device is statistically significant.

Ordering Information

カタログ番号 製品名

72290003	ウルトラボタン ADJUSTABLE	セット販売 ※ フリップ用の系となり、単体販売は行っておりません。
72200886UB	ウルトラブレイド 2号白 ウルトラボタン用※	
SNJ00129	ウルトラボタンホルダー	
SNJ00128	ウルトラサック	
SNJ00130	ウルトラワインダー	
6901189	アンテロラテラルエントリーエイマーII	
SN458200	プロテクター (改良)	
SN458201	オブチュレーター (目盛り付)	
SN349250	エンドボタン引きドリル 5.0mm	
SN349255	エンドボタン引きドリル 5.5mm	
SN349260	エンドボタン引きドリル 6.0mm	
SN349265	エンドボタン引きドリル 6.5mm	
SN349270	エンドボタン引きドリル 7.0mm	
SN349275	エンドボタン引きドリル 7.5mm	
SN349280	エンドボタン引きドリル 8.0mm	
SN349285	エンドボタン引きドリル 8.5mm	
SN349290	エンドボタン引きドリル 9.0mm	



ウルトラワインダー



アンテロラテラルエントリーエイマーII



ウルトラボタンホルダー



プロテクター



オブチュレーター



ウルトラサック



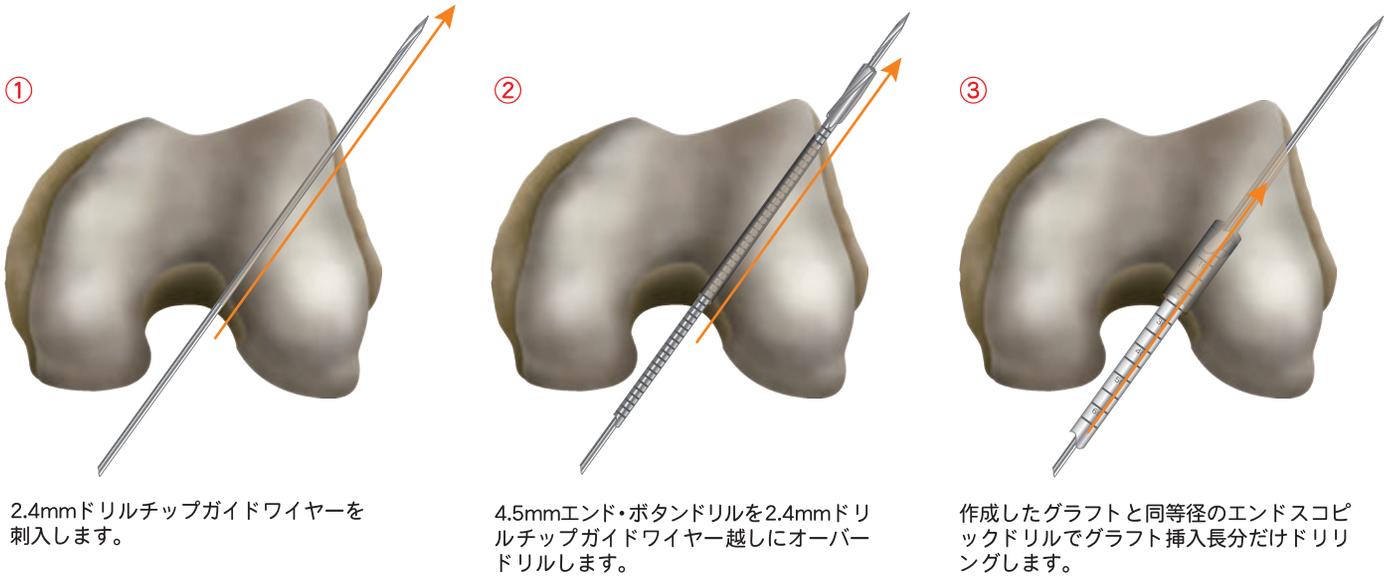
エンドボタン引きドリル

目次

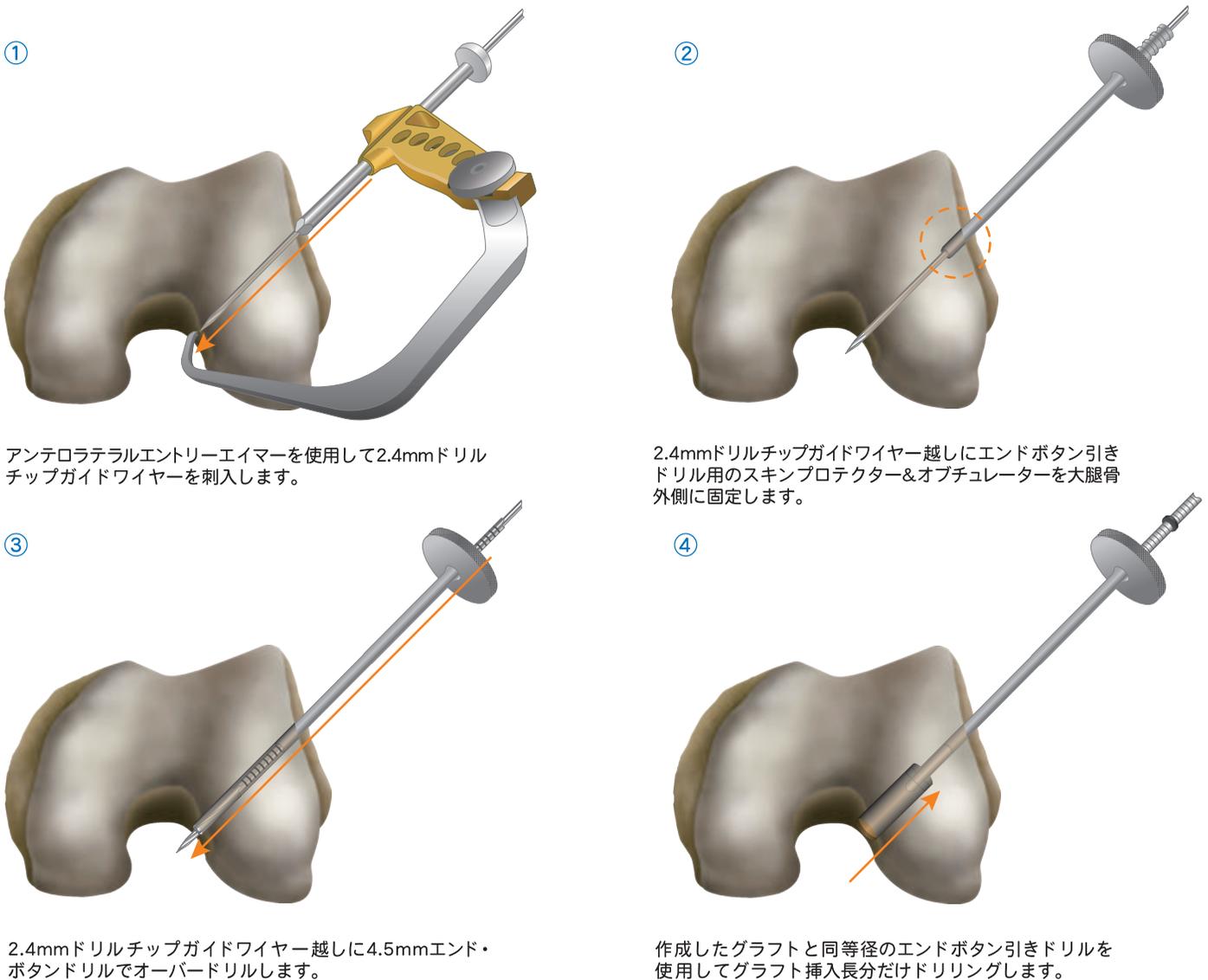
- 1. 大腿骨側の骨孔作製に関して 2
 - 2. プレ・アジャスタブル無し
 - ① ウルトラボタンの準備 3
 - ② ウルトラボタンの設置 4
 - ③ グラフトの引上げ(ウルトラサックを使用した方法) . . 5
 - 3. プレ・アジャスタブル有り
 - ① ウルトラボタンの準備 7
 - ② ウルトラボタンの固定 8
 - ③ グラフトの引上げ(ウルトラサックを使用した方法) . . 9
 - 4. 引き上げ器械 ウルトラワインダーの使用法 10
 - 5. アジャスタブルループの緩ませ方法 11
-

ウルトラボタンはInside-out法 (Trans-Tibia / Trans-Portal) / Outside-in法どちらの骨孔作製法でも使用可能です。

Inside-out 法

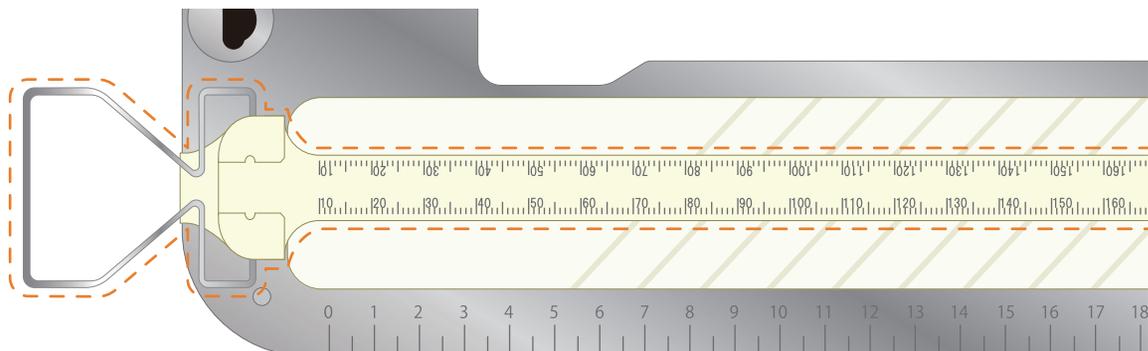


Outside-in 法



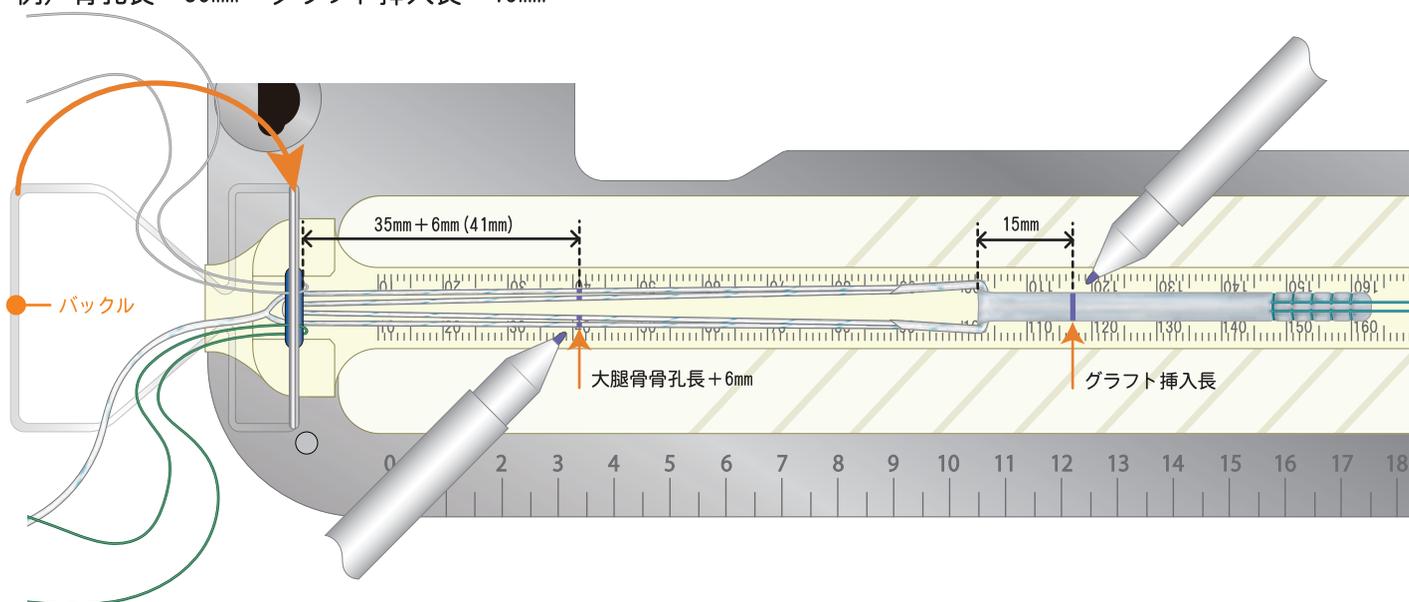
2. プレ・アジャスタブル無し ①ウルトラボタンの準備

グラフトマスターIIIにウルトラボタンホルダーを設置します。

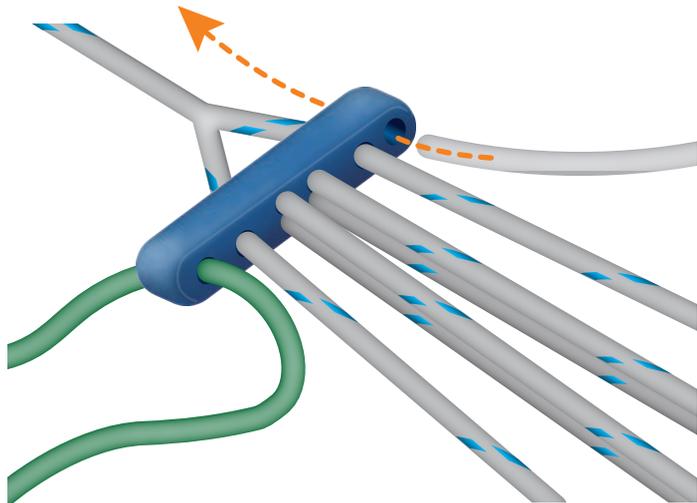


グラフトを取り付けたウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込み、バックルを起こしてボタンを固定し、アジャスタブルループ部分に「大腿骨骨孔長+6mm」、グラフト部分には「グラフト挿入長」のマーキングをします。

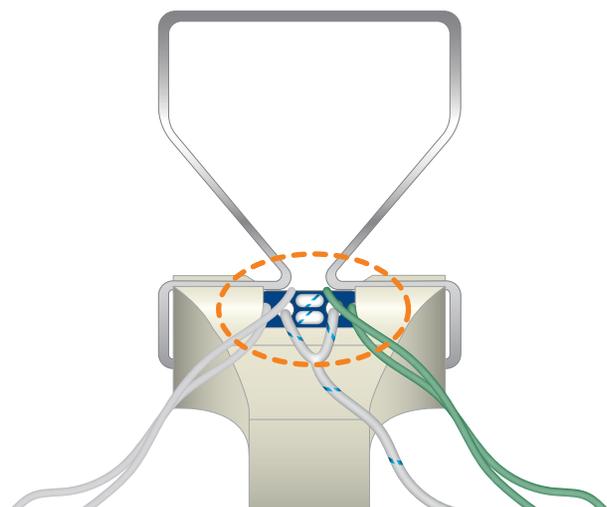
例) 骨孔長：35mm グラフト挿入長：15mm



■ ウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込む前に
フリップ用のウルトラブレイド2号を取り付けます。

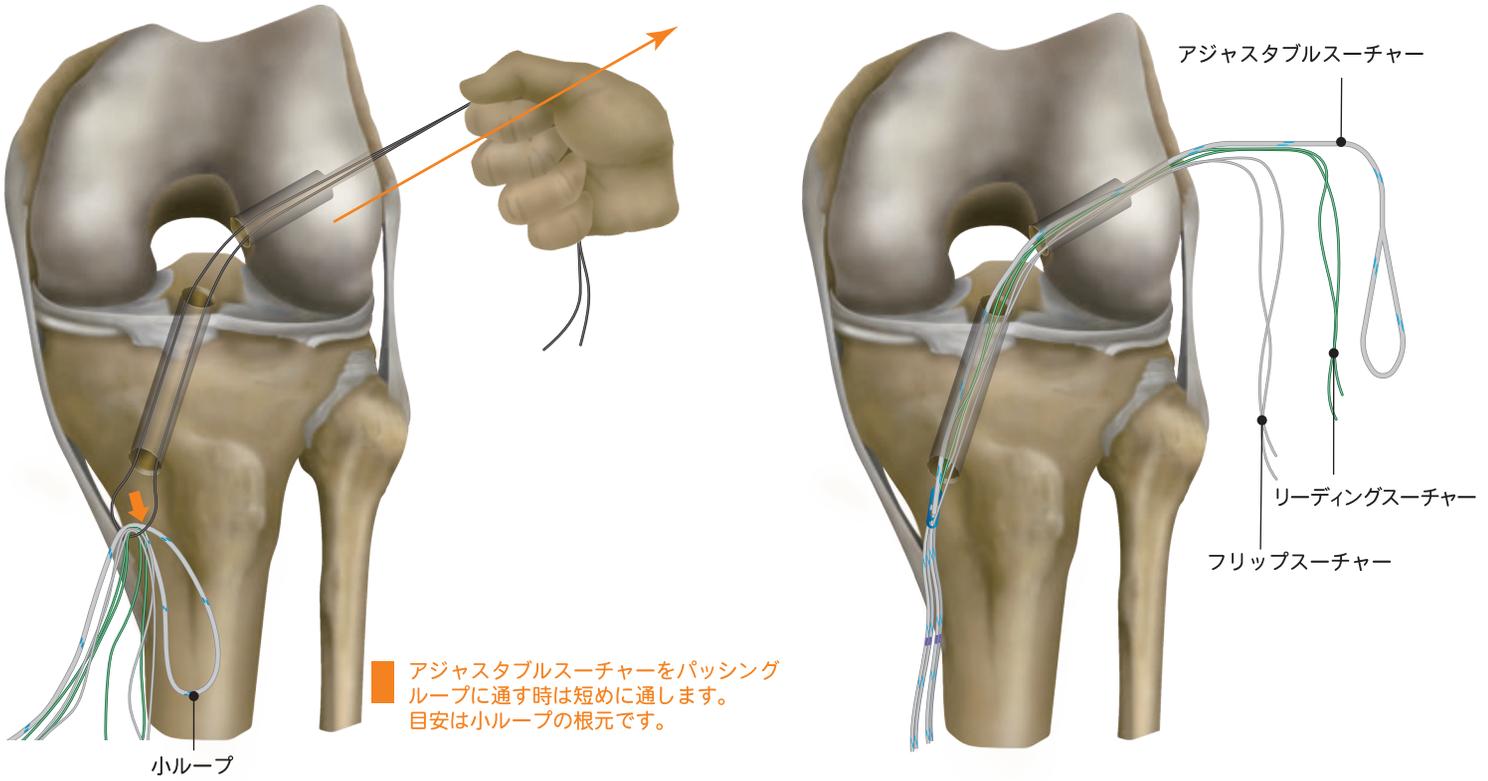


■ ウルトラボタンに繋がっている糸は、起こしたバックルの中を
通します。

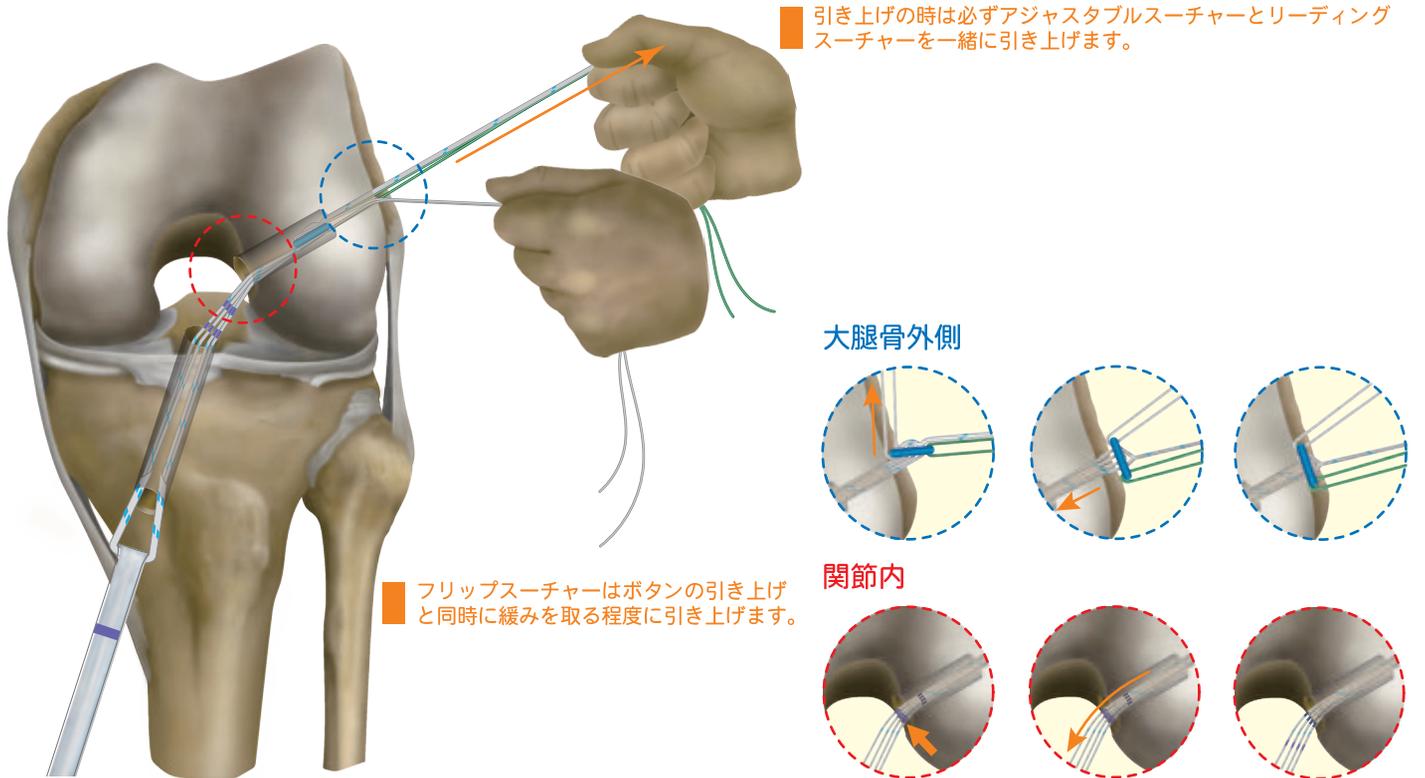


2. プレ・アジャスタブル無し ②ウルトラボタンの設置

大腿骨外側から挿入したパッシンググループにウルトラボタンに付属しているアジャスタブルスーチャー／リーディングスーチャー／フリップスーチャーを通し、大腿骨外側へ引き抜きます。



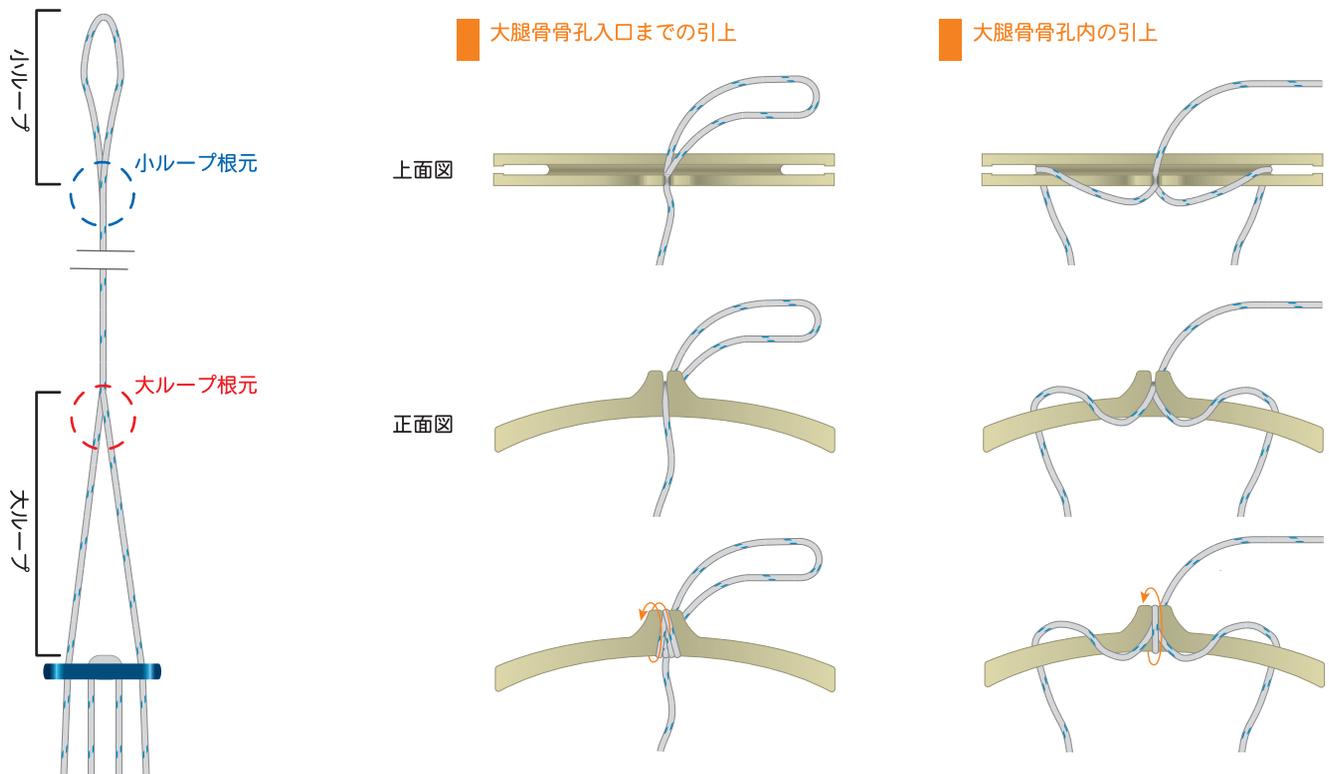
アジャスタブルループにマーキングした「骨孔長+6mm」が大腿骨骨孔入り口に到達するまでアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーをゆっくりと引き上げます。マーキング部分まで引き上げたらフリップスーチャーを引き、ボタンをフリップさせ脛骨側よりカウンターを加えボタンを大腿骨外側へ固定します。



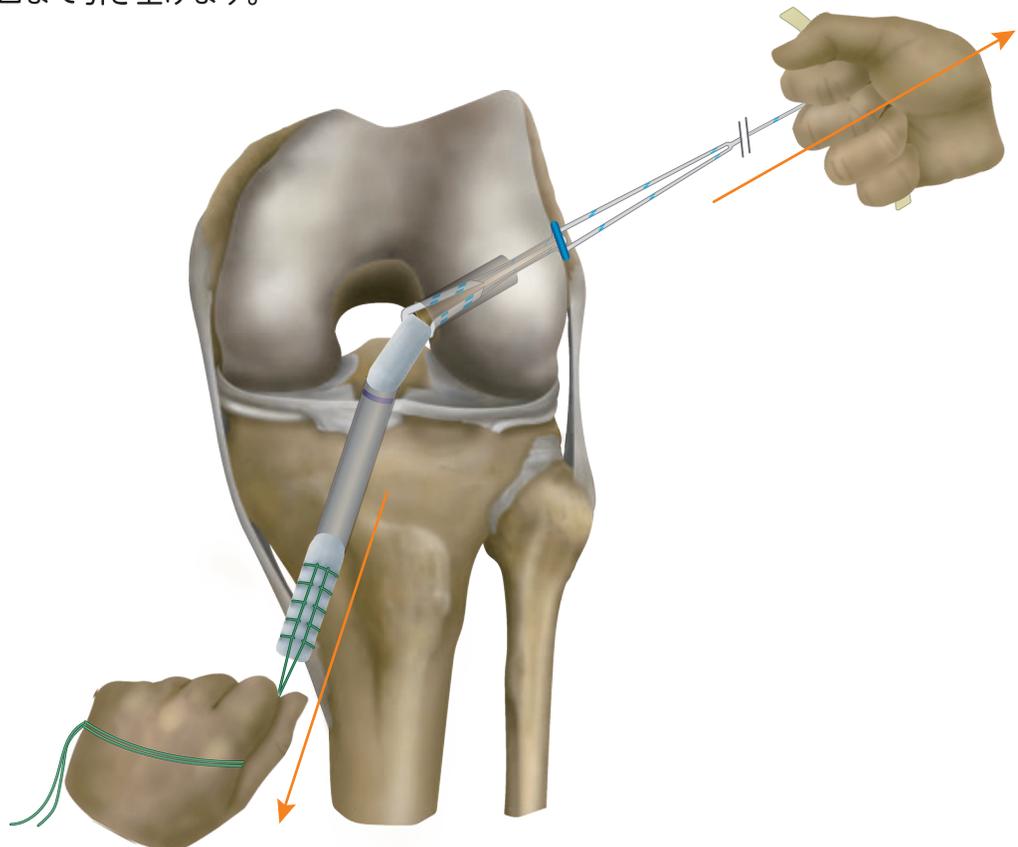
2. プレ・アジャスタブル無し ③グラフトの引上げ (ウルトラサックを使用した方法)

グラフト引き上げの時はオプション器械のウルトラサックを使用すると効率的です。

グラフトを大腿骨骨孔入口まで引き上げる時は、アジャスタブスーチャーの小ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。グラフトを大腿骨骨孔内へ引き上げる時は、アジャスタブルスーチャーの大ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。

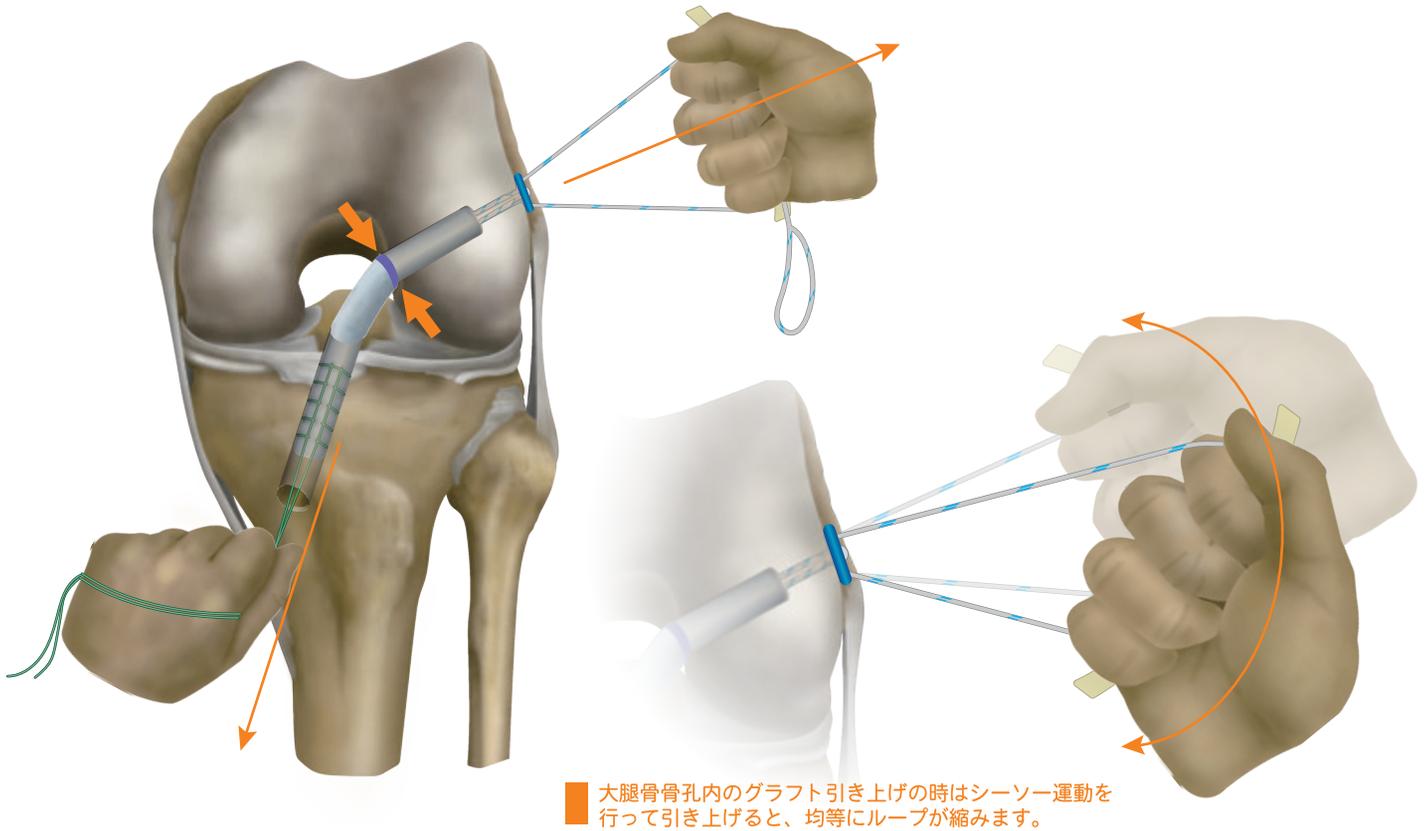


脛骨側よりグラフトにカウンターを加え、ウルトラサックを用いてアジャスタブルスーチャーを引き上げてグラフトを大腿骨骨孔入口まで引き上げます。



2. プレ・アジャスタブル無し ③グラフトの引上げ (ウルトラサックを使用した方法)

大ループ根元にウルトラサックを取り付け、脛骨側からカウンターを掛けた状態で、グラフトのマーキングが大腿骨骨孔入口に到達するまで引き上げます。



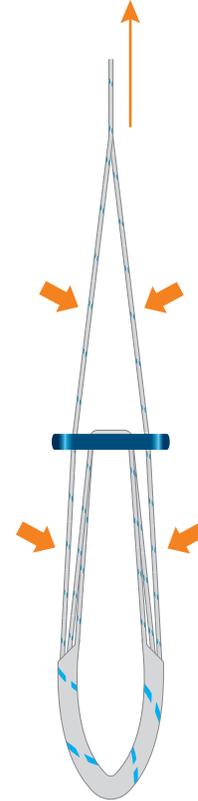
グラフトの引き上げがきちんと行われたか、アジャスタブルスーチャーを垂直に引っ張り、ループに緩みがないか確認します。

異常



■ 実際の手術ではアジャスタブルスーチャーの大ループ部分の緩みしか確認する事が出来ませんが、大腿骨骨孔内のアジャスタブルループにも緩みが生じます。

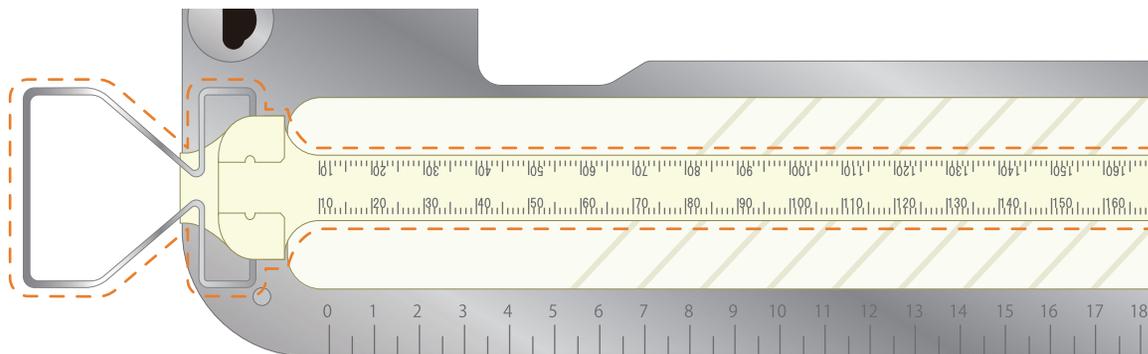
正常



■ 緩みはありません。

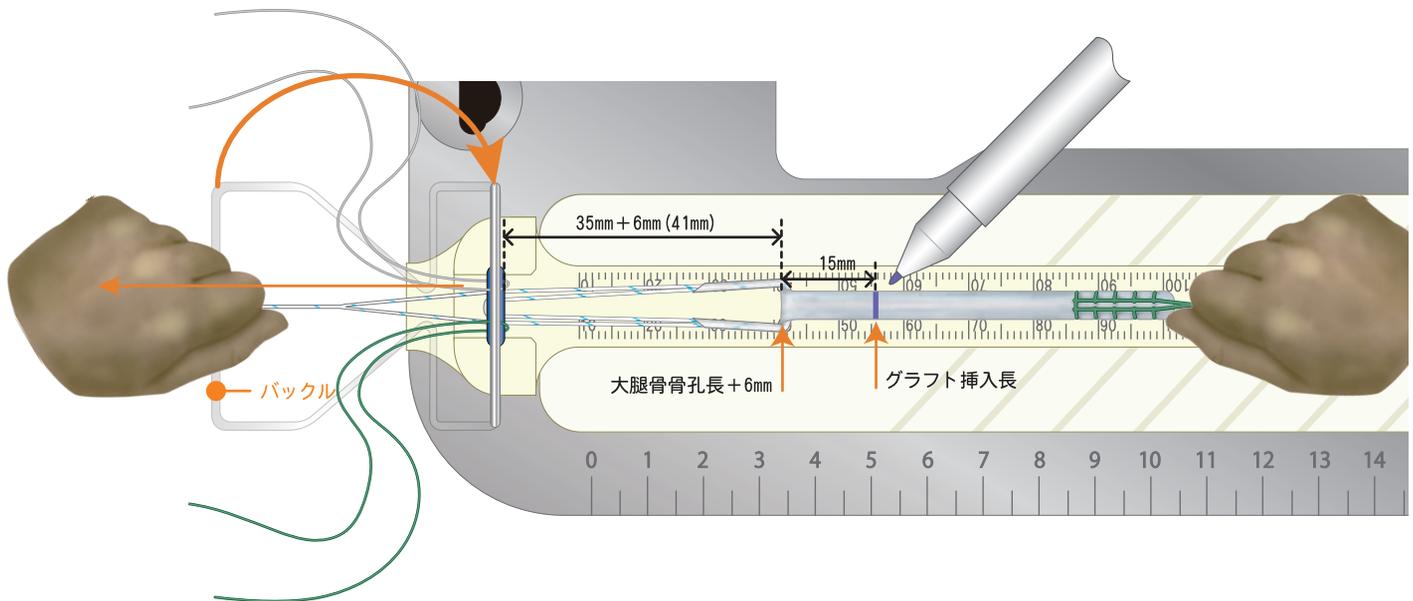
3. プレ・アジャスタブル有り ①ウルトラボタンの準備

グラフトマスターIIIにウルトラボタンホルダーを設置します。

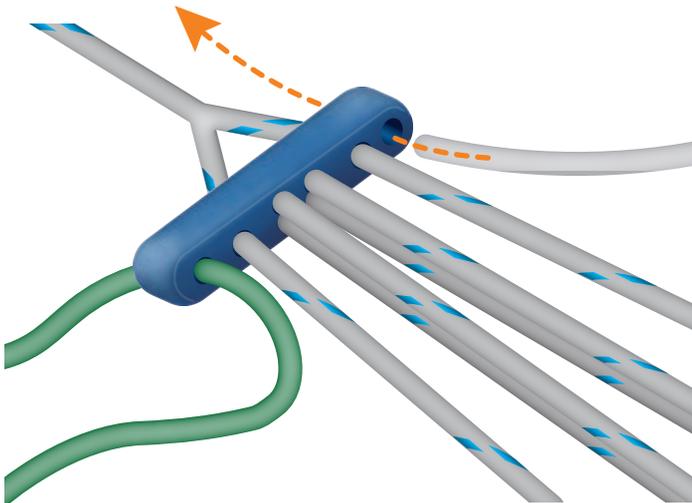


グラフトを取り付けたウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込みバックルを起こしてボタンを固定します。次にグラフトに「グラフト挿入長」のマーキングをします。最後にグラフト脛骨側を把持し、アジャスタブルスーチャーを引っ張り、グラフトとウルトラボタンのジャンクション部分がウルトラボタンホルダーの「大腿骨骨孔長+6mm」の位置に到達するまでアジャスタブルループを縮めます。

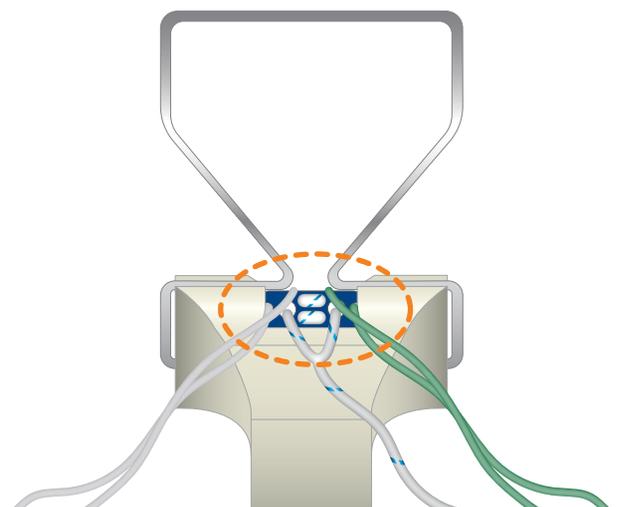
例) 骨孔長：35mm グラフト挿入長：15mm



■ ウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込む前にフリップ用のウルトラブレイド2号を取り付けます。

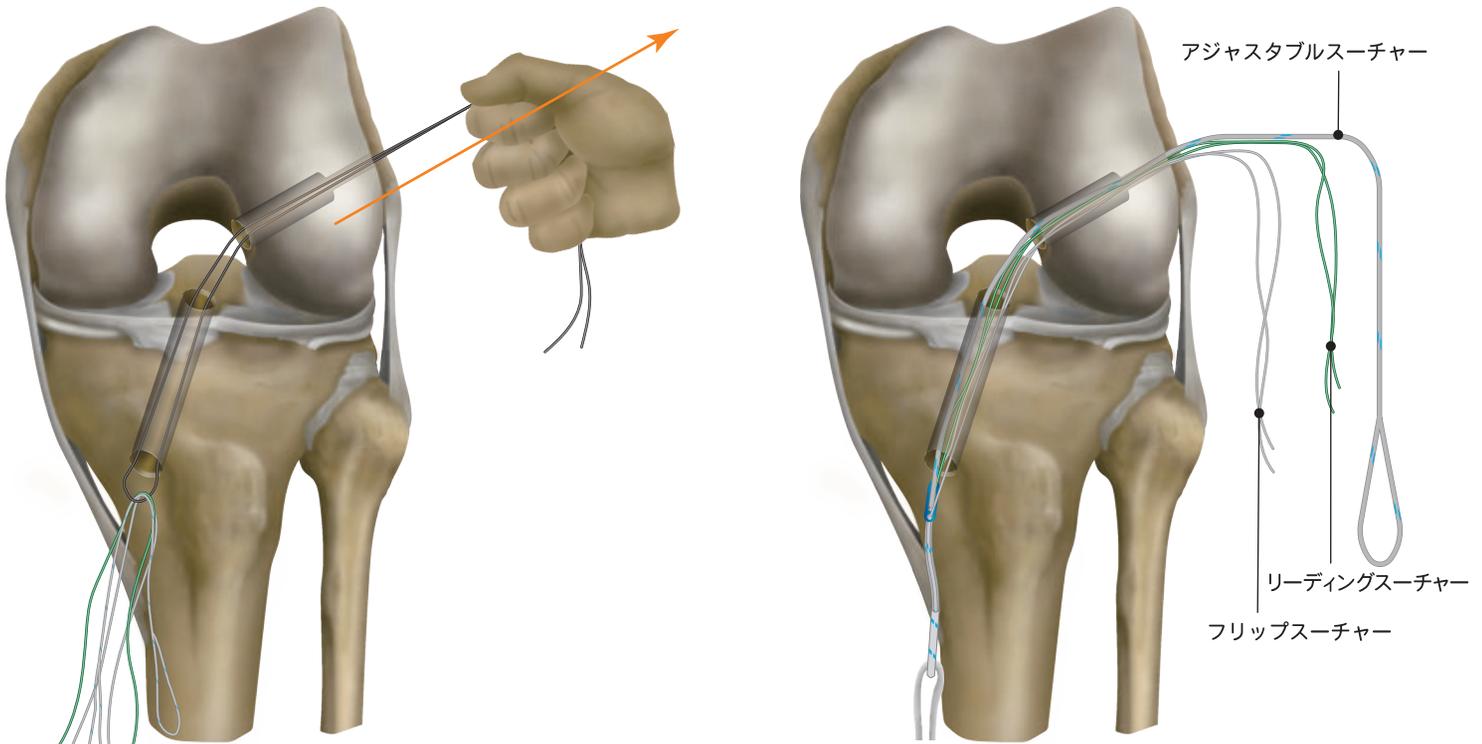


■ ウルトラボタンに繋がっている糸は、起こしたバックルの中を通します。



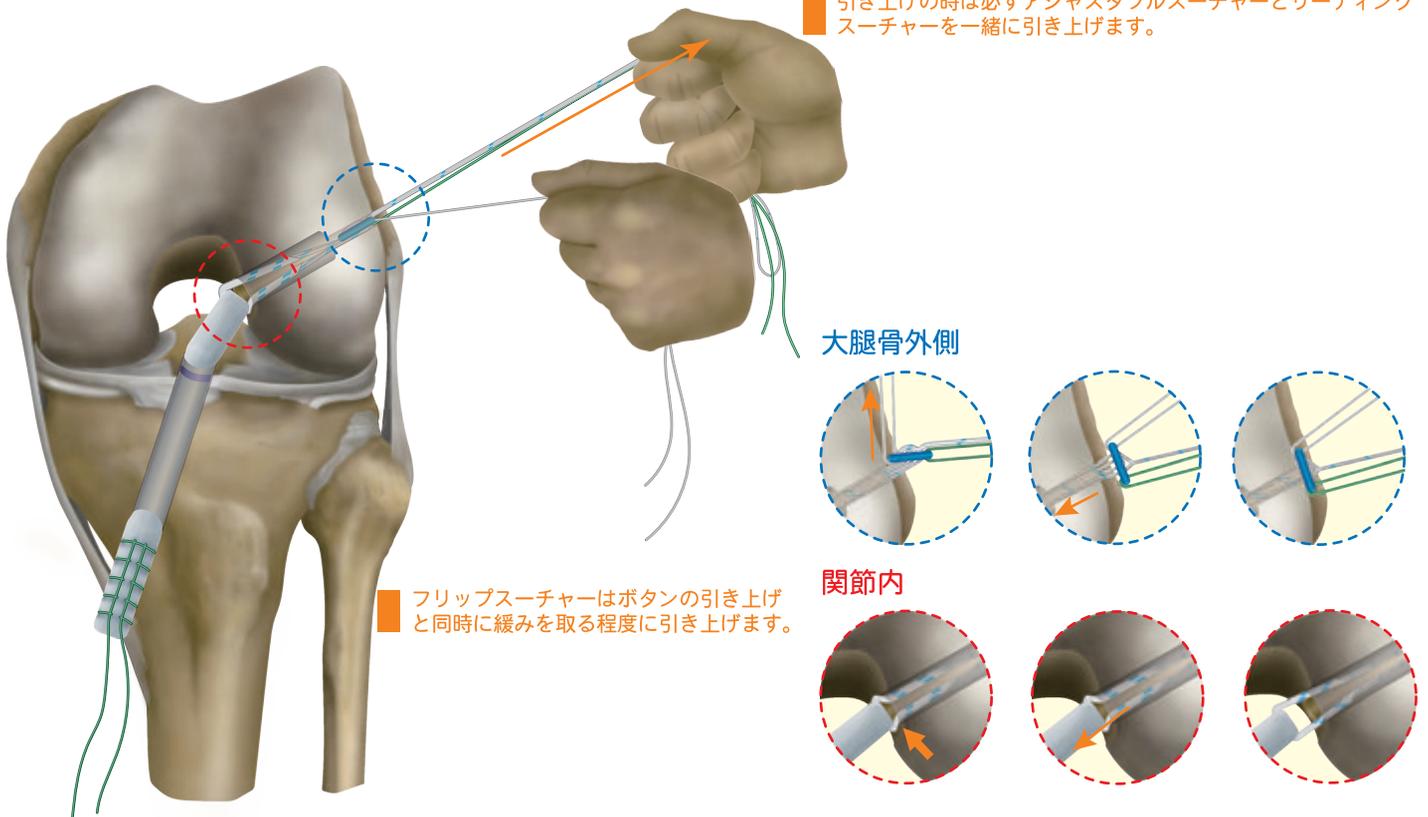
3. プレ・アジャスタブル有り ②ウルトラボタンの設置

大腿骨外側から挿入したパッシンググループにウルトラボタンに付属しているアジャスタブルスーチャー／リーディングスーチャー／フリップスーチャーを通し、大腿骨外側へ引き抜きます。



グラフトとウルトラボタンのジャンクション部分が、大腿骨骨孔入り口に到達するまでアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーをゆっくりと引き上げます。ジャンクション部分まで引き上げたらフリップスーチャーを引きボタンをフリップさせ、脛骨側よりカウンターを加えボタンを大腿骨外側へ固定します。

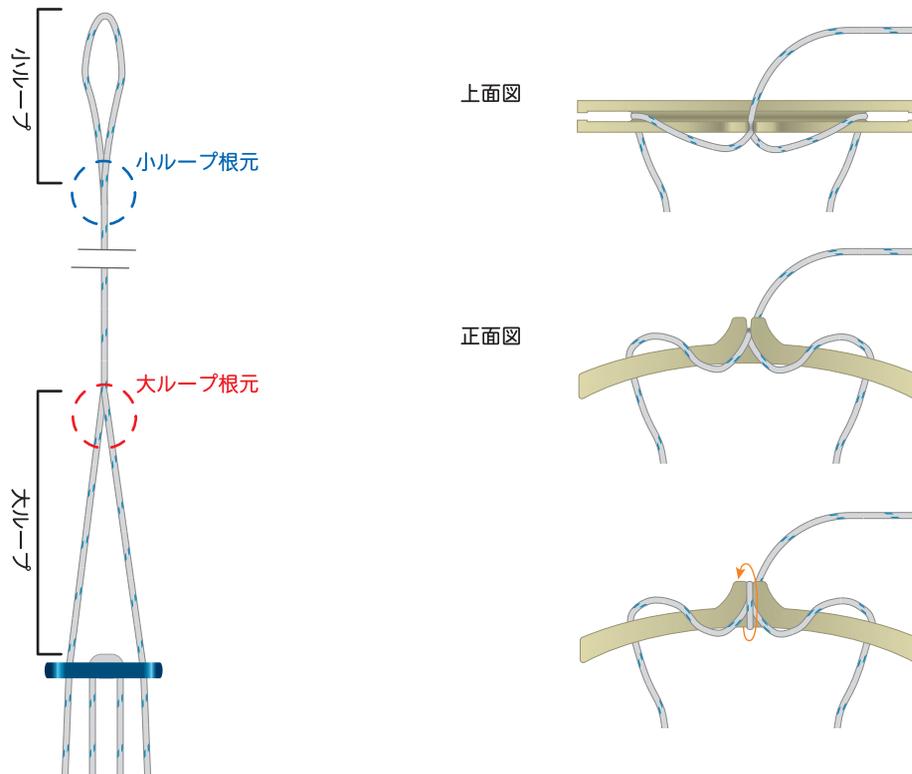
■ 引き上げの時は必ずアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーと一緒に引き上げます。



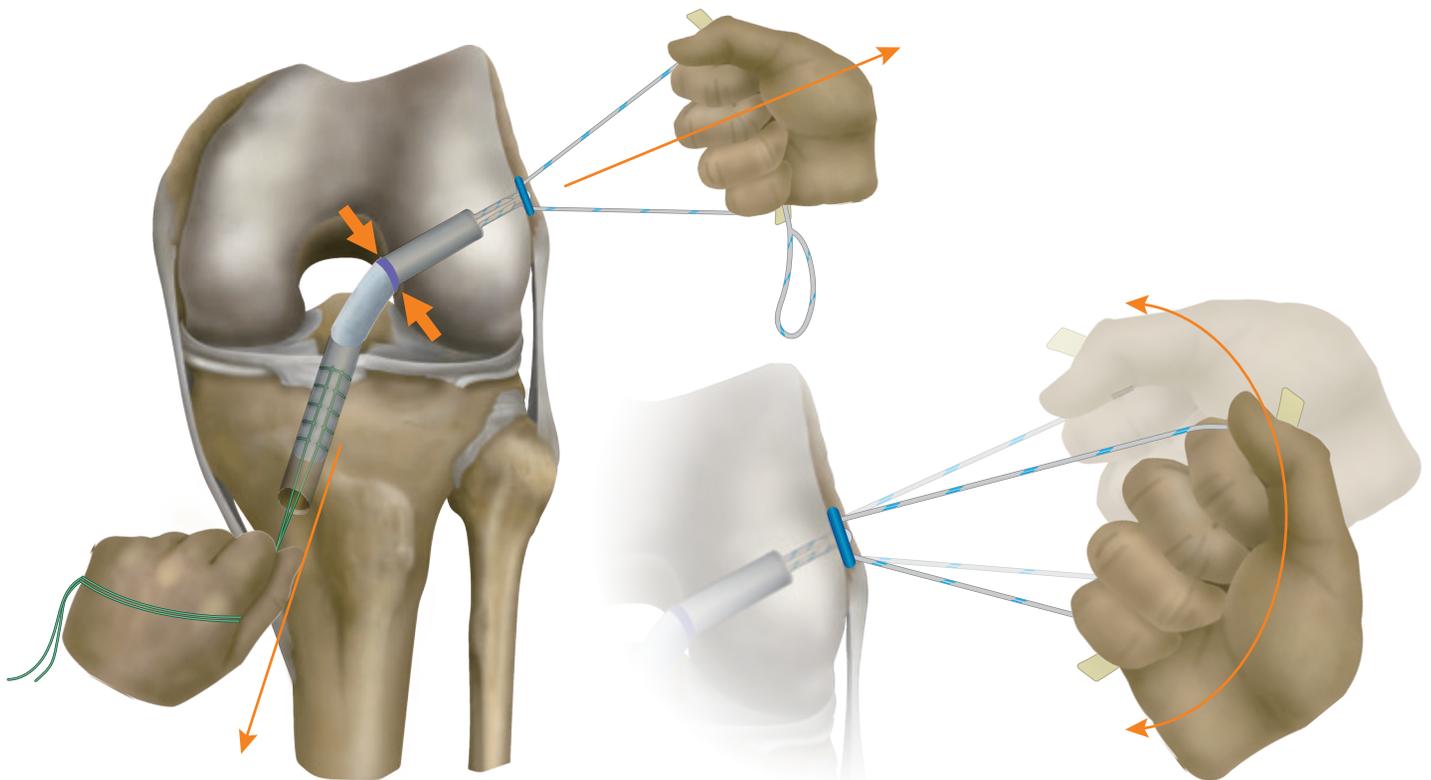
■ フリップスーチャーはボタンの引き上げと同時に緩みを取る程度に引き上げます。

3. プレ・アジャスタブル有り ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

グラフト引き上げの時はオプション器械のウルトラサックを使用すると効率的です。
アジャスタブルスーチャーの大ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。



大ループ根元にウルトラサックを取り付け、脛骨側からカウンターを加えた状態でグラフトマーキングの「グラフト挿入長」が大腿骨骨孔入口に到達するまで引き上げます。



■ 大腿骨骨孔内のグラフト引き上げの時はシーソー運動を行って引き上げると、均等にループが縮みます。

3. プレ・アジャスタブル有り ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

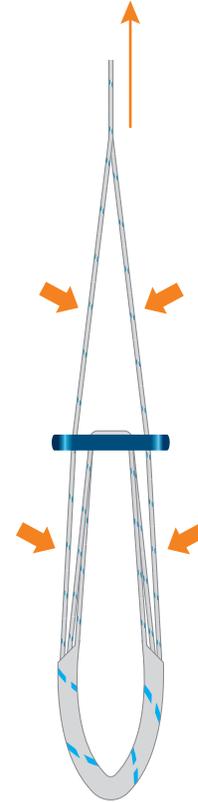
グラフトの引き上げがきちんと行われたか、アジャスタブルスーチャーを垂直に引っ張り、ループに緩みが無いか確認します。

異常



■ 実際の手術ではアジャスタブルスーチャーの大ループ部分の緩みしか確認する事が出来ませんが、大腿骨骨孔内のアジャスタブルループにも緩みが生じます。

正常

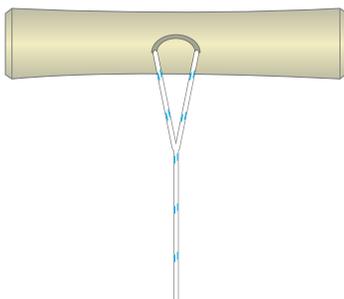


■ 緩みはありません。

4. 引き上げ器械 ウルトラインダーの使用方法

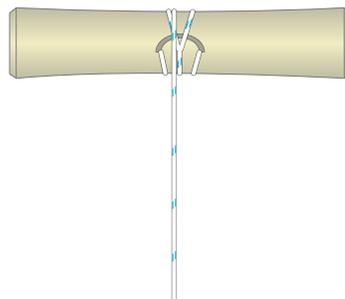
ウルトラインダーはウルトラサック同様にグラフトを引き上げる器械です。

①



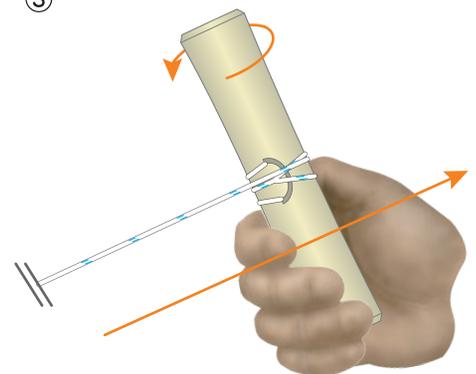
ウルトラインダーにアジャスタブルスーチャーの小ループを装着します。

②



ウルトラインダーにアジャスタブルスーチャーを巻き付けます。

③

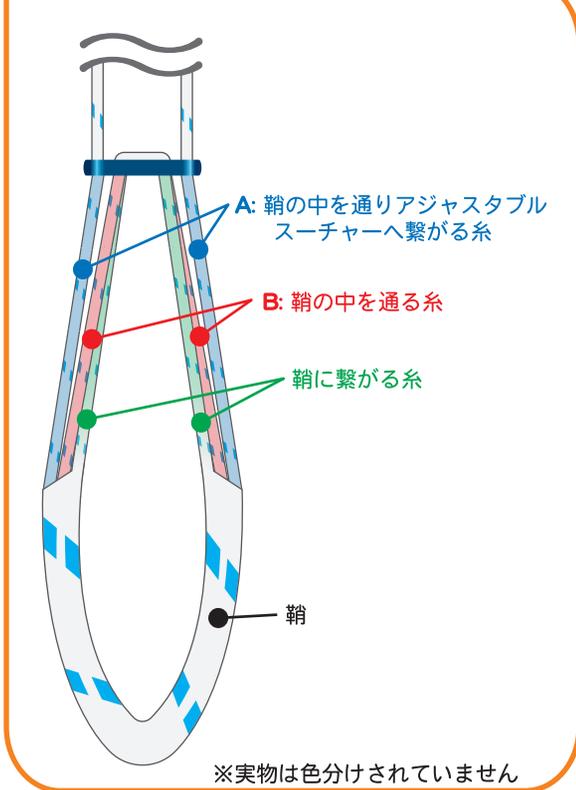


绞りながら真っすぐ引き上げます。

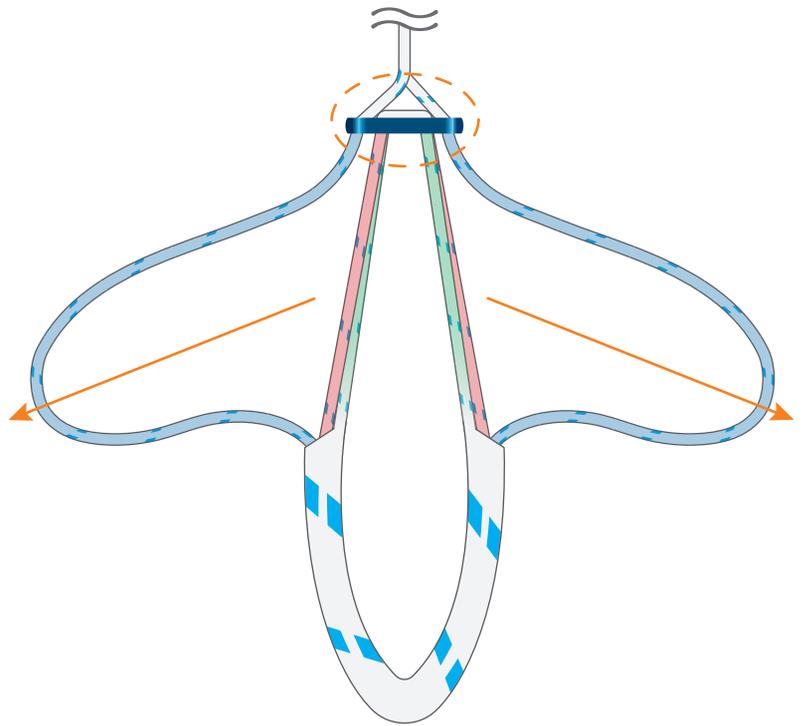
5. アジャスタブルループの緩ませ方法

プレ・アジャスタブルを行った際に、過剰にアジャスタブルループを縮めすぎてしまった時にループを緩ませ元に戻す方法です。

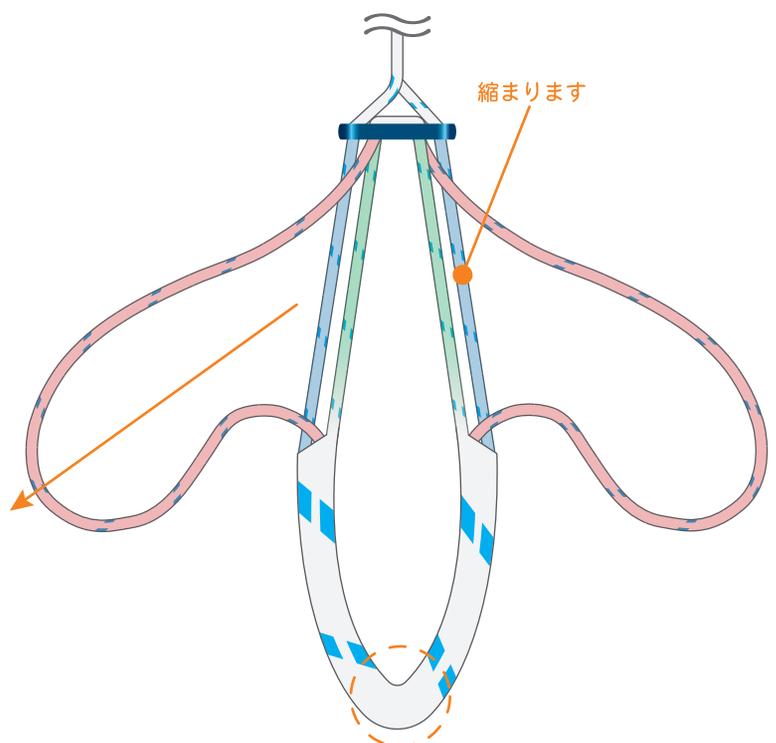
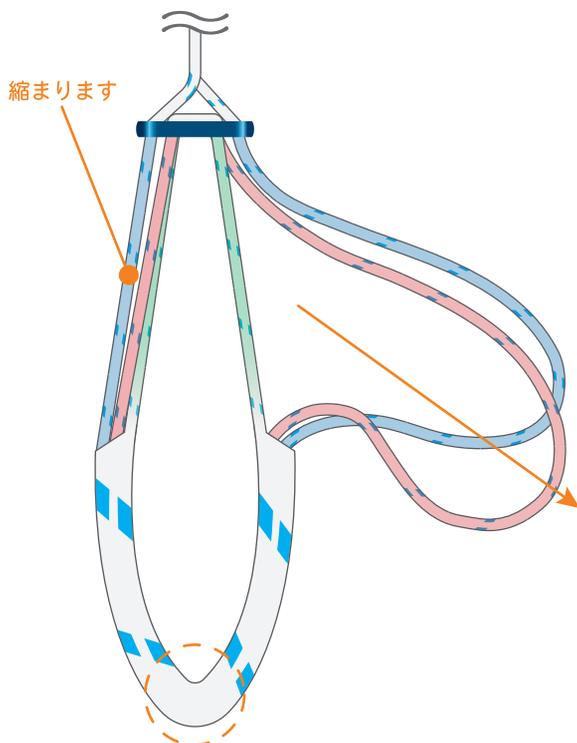
ウルトラボタンの構造



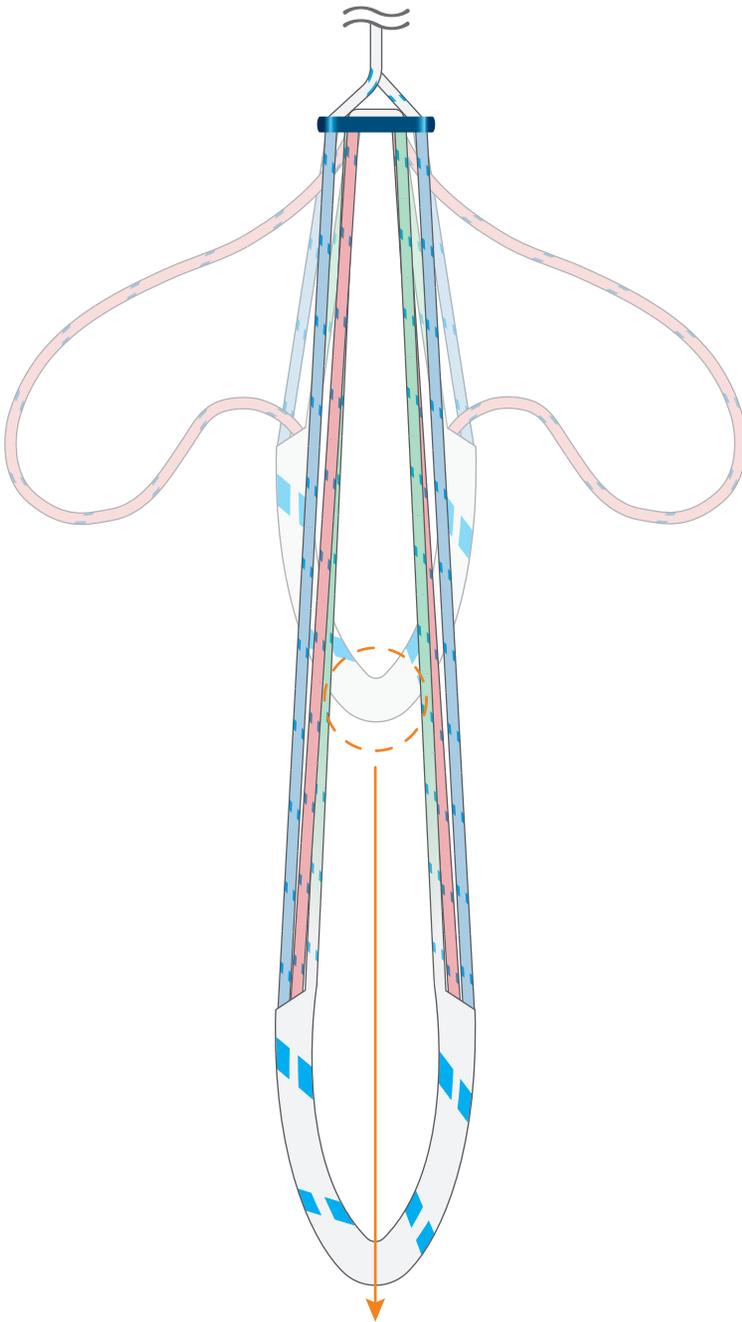
1. Aの糸をアジャスタブルスーチャーの二股部分がボタンに到達するまで伸ばします。



2. 鞘を抑えながらBの糸を引っ張ります。この時に反対側のAの糸が縮まっていくのを確認します。この操作を左右の糸両方に行います。



3. ボタンを押さえながら、鞆部分を下方に引き下げ糸を均等にすると元の状態に戻ります。



ウルトラボタン記入表

AM

グラフトの直径

大腿骨側	脛骨側
mm	mm

大腿骨骨孔長

mm

グラフト挿入長

mm

関節内長

mm

脛骨骨孔長

mm

PL

グラフトの直径

大腿骨側	脛骨側
mm	mm

大腿骨骨孔長

mm

グラフト挿入長

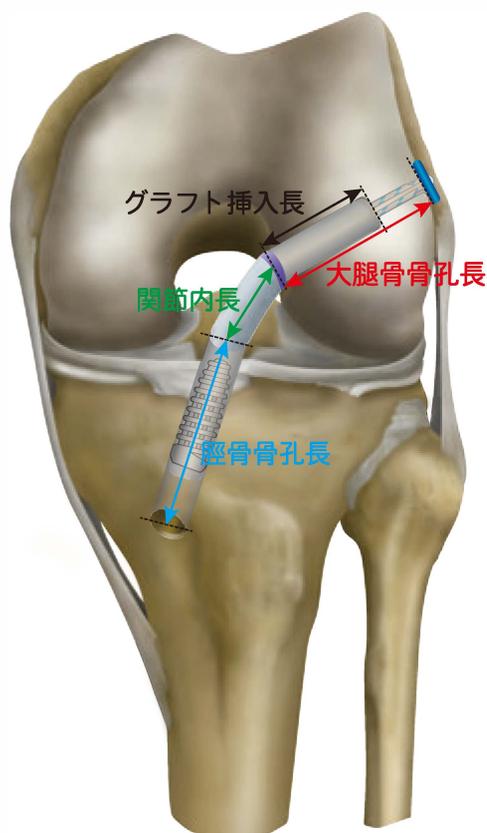
mm

関節内長

mm

脛骨骨孔長

mm



承認番号：22900BZX00388000

販売名：ウルトラボタン

製造販売元：株式会社ニッコートック

承認番号：33B3X10004000042

販売名：ウルトラボタン器械

承認番号：22100BZX00212000

販売名：ウルトラブレイド スーチャー

承認番号：22000BZX01682000

販売名：ドリル アンド ワイヤー (滅菌済)

製造販売元：アリオメディカル株式会社

届出番号：27B3X00230SN3492

販売名：エンドボタン引きドリル

製造販売元：アリオメディカル株式会社

届出番号：27B3X00230SN4582

販売名：特注プロテクター (改良)

届出番号：13B1X10222SC005C

販売名：ACL/PCL 手術器械

届出番号：13B1X10222SC0023

販売名：グラフトマスターIIIシステム

スミス・アンド・ネフュー株式会社
スポーツメディスン事業部

<https://www.smith-nephew.com/ja-jp>

©2018 Smith & Nephew KK